



White Stone Journal



Newsletter by the ALTs of Shiroishi - 2017年10月号 Vol. 129

発行/白石市国際交流協会(白石市役所総務課内) TEL0224-22-1331 FAX0224-24-4861

特集：2017 オーストラリア友好親善訪問団

市内中学生派遣事業として、生徒10名と引率2名の訪問団が、7月26日から8月3日の日程でオーストラリアを訪問しました。今月号はオーストラリアでの滞在の様子と生徒の感想などを紹介します。



8月号でもお伝えしましたが、姉妹都市であったハーストビル市が隣接市のコガラー市と合併したことにより交流事業が行えないことから、今年度もオーストラリア友好親善訪問団として、日本と深い繋がりのあるニューサウスウェールズ州カウラ市への訪問となりました。今年の訪問校は、聖ラファエル・カトリック・スクールで、ホームステイと学校体験入学を行いました。



▲学校の隣にある教会

▲学校の電光掲示板。歓迎してくれてる!(^_^)!



▲シドニーからカウラへ～



▲ギャラガー校長先生と生徒と！



▲なんと！敷地の広いこと！



▲雨の日本庭園内で



▲夕日に癒されます…。



▲カンガルー。

尻尾の筋肉がすごいのです！

★訪問団員の感想★コミュニケーション編

- ・最初は英語が通じなくて焦った。
- ・ホームステイでは後半、自らすすんで英語を話した。
- ・言葉が通じたときは嬉しかった！
- ・少しずつ聞き取れるようになった。
- ・自分の言うことを理解しようとしてくれていた。
- ・わかる単語を聞き取って何を言っているか理解した。
- ・コミュニケーション能力が上がったと思う。
- ・英語の勉強を頑張ろうと思う。
- ・「伝える」という気持ちが大切だと感じた。



▲オペラハウスをバックに

◆7月28日(金)体験校の私立聖ラファエル・カトリック・スクールへ登校、ギャラガー校長先生にご挨拶。
その後団長より記念品贈呈。学校からも記念品として教会が描かれている絵を頂きました。
学校の校風は、”STRENGTH AND GENTLENESS” (強さと優しさを…)

●聖ラファエル・カトリック・スクールについて●

全校生徒は、幼稚園児から12年生までの415人。
中学・高等学校生(7年生から10年生)は、150人。8年生は(中学2年)
26人。学校のすぐ隣に教会があり、特別な日にはミサが行われます。
大変良い環境のなかで学校生活を送っています。



▲ギャラガー校長先生です！

▼美術の先生が描いた絵を頂きました。



▲白石市からは弥治郎こけしとダルマ落としを贈りました。



▲全員で記念撮影～(^^♪



▲副団長、山田市長の挨拶を代読しています。



▲校長先生の前で、英語で挨拶しました！▶



2人の生徒による英語の挨拶はとても堂々としていて、今回白石市との連絡を担当してくれたキャシー先生より、「13・14歳というとても若いのに、知らない人たちの前で貫録があるくらいの挨拶をするなんて大したものだわ！ぜひご両親に自分たちの子どもを誇りにしていってね。」との感想を頂きました(^-^)-☆

◆引率1人と生徒は5人ずつの2つのグループに分かれて、9年生の授業に参加。

キャシー先生 (LOTE Teacher 外国語担当*) のクラスでは、白石の生徒が英語で自己紹介をし、クラス全員が日本語で自己紹介をしてくれました。練習したようで、きちんと受け入れてくれていると感じた授業でした。

* 英語以外の言語教育を LOTE (Language Other Than English) といい、移民が多いオーストラリアでは、オーストラリア以外の国で生まれ、しかも、英語を使わない国の出身者が増えているので、多文化教育、特に言語教育が重視されています。LOTE もそのひとつで、ニューサウスウェールズ州では7年生か8年生の1年間は外国語を習うことが必修とされています。キャシー先生はフランス語と日本語を教えています。



▲最初は少し緊張しています…。



◀▲集中して聞いています！

◆続いて体育の授業。2時間の授業の後は”おやつ時間”。校庭で持ってきたナッツやお菓子、フルーツを食べました。白石の生徒も日本のお菓子を持っていったので、お菓子でコミュニケーション(^^♪ 次の授業も体育。午後も体育(笑笑)。実はこの日は、受け入れてくれたクラス同士でスポーツの試合をする日でした…。日本でプレーしたことのないスポーツを思いっきり体験しましたよ～。

※学校の説明によると、海外の生徒を受け入れる場合、準備や生徒同士の交流の面から体育の授業が一番適しているとのこと。団長の感想は、コミュニケーションを取り易いという点では良かったのでは…と。



◀サッカーと軟式テニスをミックスしたスポーツ▼



▲イエ〜〜イ!



▲もうすっかり打ち解けています



▲副団長の希利子先生も参加!



キャシー先生に聞きました!
「生徒は大体どんなスポーツもします。部活動はなく地域の大会に出場しますよ。サッカー、ラグビー、ホッケーやネットボールなんかのね。」

★訪問団員の感想★学校

- 給食がなく、各自で持ってくるか食堂で購入する。「いただきます」を言わない。
- ホストファミリーが用意してくれたランチは、キウイフルーツが丸ごと入っていたので食べ方を聞いた。(食べ方: スプーンでカットしてすくって食べる…(' _ '))
- 選択授業があった(体育かフランス語を選ぶ)
- スポーツを満喫した。 • 先生、生徒と楽しく過ごせた。 • 部活動はなく、スポーツは校外のスポーツクラブに入る。
- みんなに優しくしてもらい、たくさん声をかけてもらった。簡単な単語を使おうと努力してくれていた。

※この日は全員のホストファミリーがランチを持たせてくれました。校庭には分別不要のゴミ箱がありました。



▲カウラ市にある美しい日本庭園

◆7月29日（土）カウラ日本庭園内でホストファミリーとランチパーティ～☆
よさこいソーラン（踊り）を披露後、3グループに分かれて「昔遊び」「習字」「お茶」を紹介しました。



▲白石市国際交流協会の法被を着ました



▲▼みんなの前であいさつ(´-`)☆

よさこいソーラン終了後には大拍手をいただきました!(^_^)!



▲カッコいいね～ “Cool～!!!”



▼習字は大変好評でした!



▲けん玉、竹とんぼ、紙飛行機を紹介



▲抹茶を紹介、抹茶の苦みは苦手～



▲墨とカラーを使って墨絵にもトライ!

◆7月31日（月）朝、ホストファミリーとお別れした後、日本人墓地、カウラ捕虜収容所跡を見学し日本とオーストラリアとの歴史を学びました。現在は日本人を含む多くの寄付による桜並木や日本庭園もあり観光名所となっています。◆8月1日（火）午前クレア・シドニー事務所を訪問、午後はシドニー市内見学しました。



←クレアで働いている日本人職員から海外での勤務等についての話を聴きました。仕事のやり甲斐や文化の違いで苦労した話、ミスを恐れずチャレンジする気持ちが大事でいろいろな人と出会ったと。最後に、外国語の勉強は必要だと実感を込めて話してくれたのが印象的でした。



（クレアとは、一般財団法人自治体国際化協会 CLAIR のことで、地方公共団体等の海外活動支援などを行っています。）

- ★訪問団員の全体の感想★
- ・生活や文化の違いを学んだ。
- ・世界から見た日本を感じた。
- ・ホストファミリーは優しかった。
- ・もっとホームステイしたかった
- ・英語をもっと勉強して英語を使う仕事をしたい
- ・現地の人に親切にしてもらった
- ・同じメンバーで10年、20年後にまたオーストラリアを訪れたい!

「ホワイトストーンジャーナル」は白石市国際交流協会のホームページでご覧頂けます。
10月特別編集号（近日発行予定）も是非ご覧ください。
私たち ALT が訪問団員に英語でインタビューしました。(´-`)☆

◀白石市のALTの先生で～す!

